

「^{ソジ}SOGI」とは多様な性的指向や性自認。私たちは毎月の定例会で、院内でのSOGI支援推進のために色々な議論を行っています。

答えが出ないことも多いですが

私たちがどんな検討を

行っているのかを定期的に

ご報告いたします。

今回の議題

当事者による病院視察

SOGI支援チームは、本学の「高知大学におけるSOGIの多様性に関する基本方針（令和4年1月27日制定）」に準拠し、当院内で以下の目的を達成するために活動しています。

研修、提言などの活動を通じて
附属病院職員のSOGIへの
理解を深めること

多様な性の在り方を持つ人々が
苦痛なく安心して受診、治療を
行うことができる院内環境
づくりに資すること

SOGI
支援チームによる
取り組みの内容を
性的少数者の方々に
視察していただくこと
になりました。
今回はその様子
をご報告します。



これまでの取り組みも当事者の方にご意見をいただきながら進めてきましたが、どうしても病院目線になっている部分があると思います。当事者の皆さんに病院に来ていただき、ご意見をもらうというのはどうでしょうか。

当事者による病院視察ということですね。当事者の立場からご意見をいただけることは貴重な機会になると思います。



そうですね。多様なセクシャリティの方に来ていただけると、今まで自分たちが気づかなかったさまざまな角度からご意見をいただくことができそうですね。

この機会に、当院の取り組みをより多くの方に知っていただくために、メディアへ取材を依頼するのはどうでしょうか。県内の多くの医療機関に、SOGIの取り組みを考えてもらうきっかけになれば良いと思います。



ただ、メディアが入ると当事者の方たちのプライバシーの問題が心配ですね。当事者の方たちが医療機関にどのようなことを望んでおられるのかを広く知ってもらう機会にはなりますが、アウティング※になってしまうことは絶対にさける必要があります。 ※アウティング＝性的指向や性自認を本人の了解を得ずに他人に暴露する行為

プライバシーに十分配慮し取材をしてもらうことで、当事者・メディアの双方から了承を得て進めていきましょう。



その後

高知県のセクシャルマイノリティとアライのNPO団体である「レインボー高知」の方にご協力いただき、2025年1月10日に当事者視察を行っていただきました。

病院長の挨拶の後、武内チーム長よりSOGI支援チーム設立からこれまでの取り組みについて報告しました。また、新病棟におけるSOGIを意識したシャワー室や多目的トイレ等の設備や、初診患者受付を実際にご覧いただきました。今回は視察を通していただいたご意見の中から、今後修正や検討が必要な以下の2点についてご報告します。



報告の様子



院内視察の様子
(ご意見募集ポスター)

「診療申込書」の性別欄について

● 本院の現状

- ①男女どちらかの記載が必要
- ②医療保険証に記載の内容で登録
- ③特に説明などなく「性別」とのみ記載があり、男女を選択する

● 当事者の声

- ・絶対に記載が必要なのであれば、どう書けばいいのか明記があると記載しやすくなる
- ・病院で最初に記入する診療申込書の性別欄に配慮が感じられると病院への信頼へつながるのではないかと

診療申込書

職業 Occupation	
保険証の性別 Sex	☐ 男 (M) ☐ 女 (F)
続柄 Patient	

ご意見を受けて
性別欄を
「保険証の性別」と
記載変更しました

レインボーフラッグ・相談カードの設置について

● 本院の現状

- ①初診患者受付・患者相談窓口・インフォメーション・総合診療部の4カ所に設置

● 当事者の声

- ・相談カードにあまりレインボー感を出しすぎずシンプルにすることで、SOGIだけでなく他のことでも相談しやすい工夫ができています
- ・フラッグやカードの設置していることで、かえってそこできしか相談ができなさそうに感じる
- ・産婦人科の職員には重点的に研修を行っている病院があると聞いたことがある

● 今後

- ・SOGIに関する配慮が必要になる可能性のある産婦人科や泌尿器科、また脱衣を要することのある検査部や放射線部でのレインボーフラッグの設置及び重点的な研修の検討
- ・アライ養成研修の継続によってレインボーフラッグや相談カード設置場所の拡大を目指す

編集後記

SOGI支援チーム設立後からこれまでの取り組みや新病棟の設備について、当事者の方々に評価をいただける貴重な機会となりました。当事者の方々と一緒に院内を歩くことで、SOGIへの配慮が多くの患者さんへの配慮につながっていることに気づくことができました。当事者の方々からいただいた、忌憚(きたん)のないご意見を今後の取り組みへつなげていきたいと思ひます。

また、同日に開催された第9回アライ養成研修では養成者が100名を超えました。病院の中にアライの方々が増えていることを非常に嬉しく思ひます。ご参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。今後も研修会を続けていきますので、ぜひご参加をお待ちしております。

誰もが安心して受診できる病院になれるよう
引き続き取り組んでいきます。

チームでは、色々な部署からのご相談をお待ちしています。
みんなが過ごしやすい病院になるように一緒に考えていきましょう。

高知大学医学部附属病院 SOGI支援チーム

問い合わせ先 E-mail: sogi-kms@kochi-u.ac.jp